

(様式第 7 号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 6 年 5 月 31 日

作成者： さくらみちこ

地域の課題解決のために行った活動を 1 つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

＊この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
芦屋犬猫保護活動会	
事業名	日時 (期間)、場所
里親譲渡会	令和 5 年 10 月 20 日 10 時から 15 時 ショッピングモール●● (芦屋市)
内容 (実績) ＊実施したことを具体的に	受益者数
・遺棄されるペットの実情を伝える掲示をした。 ・里親になりたい人を募集、当会の保護している犬猫 15 頭の譲渡につながった。 ・当会の保護活動の状況を説明し支援を求めるチラシを 200 枚配布した。 ・保護活動に必応な経費への募金を訴え、2 万円集まった。 ・地元企業 1 社から協賛を得た。	(犬 8 頭、猫 7 匹) 人
	参加者数
	(約 200) 人
成果 (社会へのインパクト) ＊どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
・飼えなくなった多くのペットが遺棄されている実情や日本における殺処分の多さを人々に訴えることができた。関心をもってくれた人がチラシをとってくれたり、里親になることを検討したいという人が新たに 30 名登録してくれた。 ・当日のイベントをプレスリリースしたところ、地元紙が取材に来てくれ記事になった。	
今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
・犬猫の保護に掛かる費用を主に会費や寄付で賄っているが、保護の頭数が増えてきて経費がかさんでいる。今後は助成金を取得するなど、資金開拓に力を入れたい。 ・遺棄されるペットが増えている。そのため、譲渡だけではなく、遺棄を生み出さない社会的文化を醸成していけるような啓発活動や公的制度の充実などを訴えるアドボカシー活動にも力を入れていきたい。	

この活動で利益を受けた、問題解決につながった等の数

活動に関わったすべての人数